



今回のテーマ



今回の CHAmmiT のテーマは「ミライの大學生へ～オンライン授業ミライのカタチ～」でした。

急遽はじまったオンライン授業により、私たちの学修環境は大きく変化しました。学生にとっても教職員にとってもオンライン授業は、はじめてのことであり、授業に対する学生の不満、また授業を提供する教職員側も不満が出てきていました。そこで今回は、オンライン授業のメリット・デメリットについて、互いに意見を共有し、今後のオンライン授業をどのように改善していくべきなのか、またコロナウイルス収束後にオンライン授業で得たノウハウをどのように活用していくのか、について考える機会にしました。

目次

- 1 ページ 活動内容・テーマ
- 2 ページ セッション1について
- 3 ページ セッション2について
- 4 ページ セッション3・まとめ

活動内容

7月から11月の間で計6回のミーティングを行いました。コロナウイルス感染症防止のため、対面から Zoom を用いたオンラインでの開催に急遽変更となりました。

今年度は、ミーティングで話し合った内容を有効活用するために、ミーティングごとの報告書を作成いたしました。気になった方は下記をクリックまたは検索してみてください！

[CHAmmiT ページはこちらをクリック！](#)

または 「日大 CHAmmiT」 で検索！！

編集：令和2年度 日本大学 学生 FD CHAmmiT 学生スタッフ

吉田 未来（通信教育部法学部政治経済学科4年）

大貫 陽司（経済学部金融公共経済学科3年）

竹田 蘭丸（国際関係学部国際総合政策学科1年）他一同

発行：日本大学 FD 推進センター

お問い合わせ：日本大学本部学務部学務課

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24

E-mail：adm.aca.eps@nihon-u.ac.jp

ホームページ：

<http://www.nihon-u.ac.jp/fd-center/>



CHAmmiT は今年で
8回目だにゃん！！



フラワードッグくん



チャミットちゃん

(CHAmmiT マスコットキャラクター)

セッション1

オンライン授業のメリット・デメリット

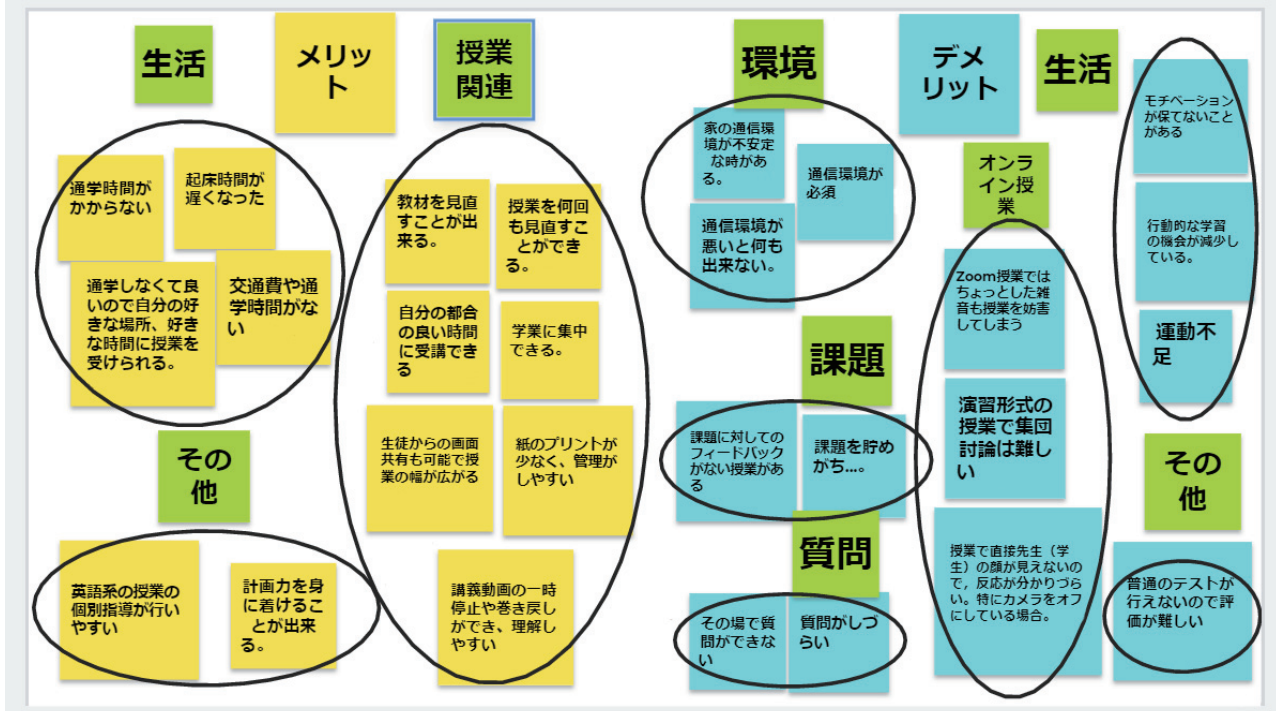
セッション1では、学部混合でグループをつくり、「オンライン授業のメリット・デメリット」について、学生・教員・職員の三者がそれぞれの立場で意見を出し合いました。互いの意見を共有し合うことで、オンライン授業のメリット・デメリットについて、学生・教職員の双方が何を思っているのか把握することができました。その結果、学生と教職員がお互いの意見を共有することができ、緊張していたムードも和らげることができました。

メリット

- ・ 自分の都合の良い時に受けられる
- ・ 通学時間がかからない
- ・ 授業を何度でも見ることができる
- ・ 研究時間の増加
- ・ 感染リスクの低下

デメリット

- ・ 学生間の交流がない
- ・ 授業理解度の低下
- ・ 課題が多い
- ・ 通信環境によるトラブル
- ・ 質問がしづらい



メリットとデメリットがいっぱい
出たわん！

セッション2

オンライン授業ミライのカタチ

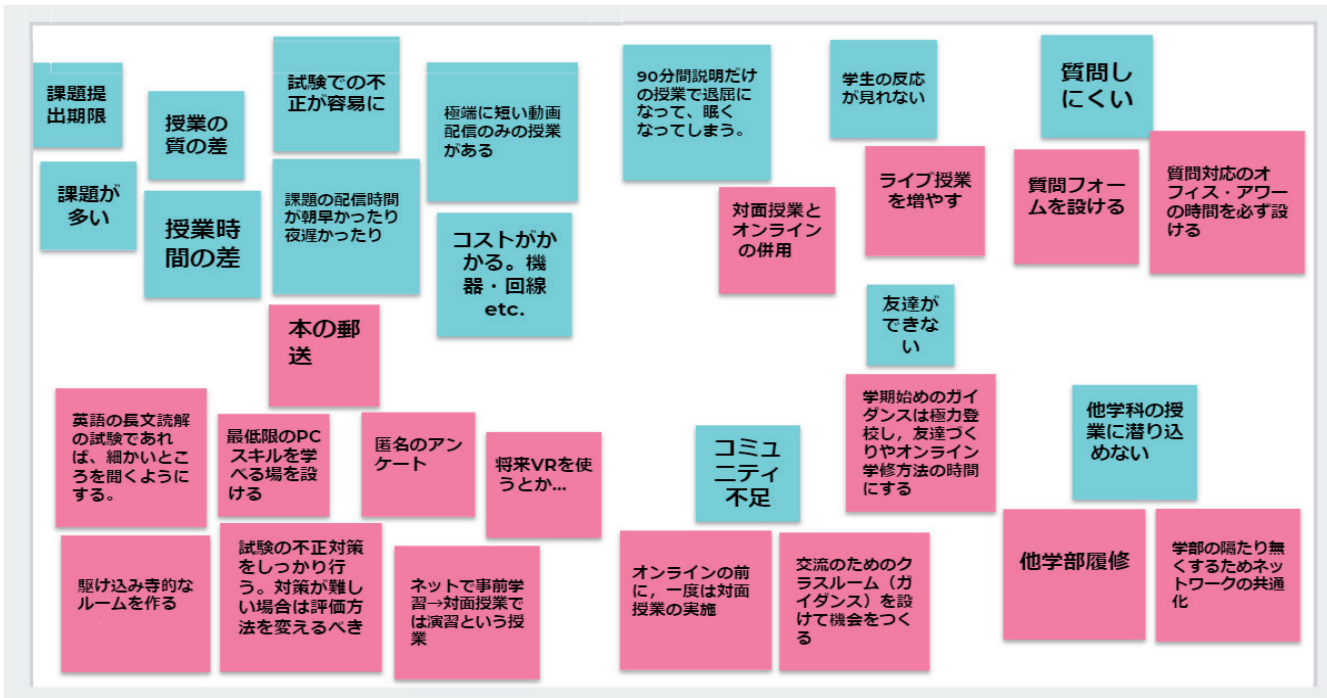
セッション2では、セッション1で話し合ったオンライン授業のメリット、デメリットについて整理し、その後メリットに関しては対面授業移行後にどのように生かしていけるのか、デメリットに関してはどのように改善することができるのかをそれぞれ話し合いました。

メリット

- ・授業がオンデマンドだからいつでも授業を受けることができるし、復習も簡単だった。
- ・自分の時間が多く取れるようになり、調査や研究に時間がかけられるようになった。

デメリット

- ・学校に行くことができないため、孤独を感じてしまい、授業に関する質問がしづらい。
→改善策として、zoom を用いたオフィスアワーや Google classroom の限定公開コメントの活用。
- ・課題の提出方法が先生によって様々でわかりづらい。
→改善策として、課題提出ツール(Google classroom 等)を活用し、提出方法を統一してよりわかりやすく、使いやすくする。



勉強に関してはメリットを感じる人が多いみたいだよ！





セッション3では、学部ごとに集まり、セッション1・2を通して、各学部でこれからのオンライン授業を考えた時に「どのようなことが生かせるのか？」や来年、対面授業に戻ったとして「どこまでオンライン授業を扱っていくのか？」の要望などを考えました。

対面授業が再開してもオンライン授業を行って欲しいor 欲しくない？

再開してほしい理由としては「友達との交流が少ないため、勉強のやり方などを共有できない」や、「教員との距離感がつかみづらく、質問がしにくい」といった声が多く挙がりました。再開してほしくない理由としては「通学時間の削減」、「自由な時間の増加」、「オンデマンド動画や資料があれば、何度でも見返せる」といった声が多く挙がりました。

オンライン授業の改善点

立地や設備など各学部の特性を生かした多くの意見が出ました。全学部に通じて多かった意見は、「教員間で意見交換し、課題の量を調節してほしい」や「zoom等を用いた質問時間を設けてほしい」といったものでした。

CHAmMiT で作成した学部提案書だわん！各学部で改善できるよう頑張るわん！

こういったものがあったら良いのでは？

この問いに関しても非常に多くの意見が出ました。全学部に通じて多かった意見は、「他学部履修の実施」、「対面授業とオンライン授業のハイブリッド実施」といったものでした。ここには挙げられなかった意見も多くありますが、各学部様々な意見、考えがあり非常に興味深いものもありました。



商学部提案書

対面授業が再開してもオンライン授業を行って 欲しい・欲しくない

理由

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 聞き逃しても何度も聞ける いつでもどこでも受けられる 通学時間、準備がいらぬ | <ul style="list-style-type: none"> 課題の提出方法、期限がバラバラ 交流がない |
|--|--|

私たちが考える…オンライン授業の改善点は…

- 課題の提出方法、期限がバラバラな点
- 1年生は授業について全く分からない点
- 人によって通信環境に差がある点

来年やそれ以降で、今はないけどこういうのが あったらいいのといった要望

- 課題提出のツールを統一したり(クラスルーム)、管理ツールを作る
- 高学年が授業の体験感を1年生に伝える場を作る
- 他学部履修を積極的にできるようにする
- 通信環境を整えた教室を作り、そこで授業を受けられるようにする

生産工学部提案書

対面授業が再開してもオンライン授業を行って 欲しい・欲しくない

理由

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> オンラインでも十分に受けられる授業があったから。 実験をやりながら見る授業みたいなのがあっても良いかも。(実験での知識確認にもなるので) | <ul style="list-style-type: none"> 実験や実習などは対面の方が容量がわかりやすいと思う |
|---|---|

私たちが考える…オンライン授業の改善点は…

- 教職員の間で課題の量に関する情報の共有
- 学生と教員との間に距離が開いてしまう。
- zoomを使った質問の応答
- 受講する環境に差が出る。

来年やそれ以降で、今はないけどこういうのが あったらいいのといった要望

- 対面授業とZoomの同時双方で、授業中も録画して後で見返せるようなスタイル
- テストは回答時間と提出時間を分けて欲しい
- 健康観察の回数を減らして欲しい

薬学部提案書

対面授業が再開してもオンライン授業を行って 欲しい・欲しくない

理由

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 講義を何度も観返すことができる 交通機関・天候に左右されない 実技以外はオンラインでいいのでは？ | <ul style="list-style-type: none"> オンラインが実施できない場合はすぐにオンデマンドに切りかえてほしい すべて対面だと実技科目が身につかないから 通信環境のトラブルが多いから |
|--|---|

私たちが考える…オンライン授業の改善点は…

- 通信環境トラブルへの対応を学期初めに公表する
- 学生の出席率などが教員との信頼に繋がるので改善する

来年やそれ以降で、今はないけどこういうのが あったらいいのといった要望

- 学生間の交流の場を設ける
- 質問等をもっと気軽にできるようにする
- 少人数での授業などで、生徒間で話す時間のある授業を増やす
- (一部カメラをオンにするなど)
- 対面授業を録画して気楽に復習できるようにしてほしい